

中学校第2学年 学級活動指導案

日 時：平成26年10月7日(火)第2限
指導者：教育センター所員 中川 君隆
場 所：2年6組 36名 教室

- 1 題材 「不安や悩みの解決に向けて」
内容(2)ア 思春期の不安や悩みとその解決

2 題材について

(1) 生徒の実態

1学期の生徒の様子とアンケート(人間関係やコミュニケーションに関する)結果

生徒たちは中学生活折り返しの時期を迎え、意識に変化が見られる。部活動においてはすでに、中心的な存在として活動し、生徒会役員選挙なども間近に控え、最上級生になる自覚も出つつある。しかし、頼りにされる機会が増え、充実した生活が期待できると同時に、その期待に対するプレッシャーや、自己の生き方への不安を強く感じている様子が見られる。

アンケート(人間関係やコミュニケーションに関する)結果

現在、生徒の胸中にはそれぞれ程度は異なるものの「悩み」、「あせり」、「不安」、「ストレス」などがあると考えられる。これを解消するための条件の一つとして、自分の気持ちを話したり、相手のことを親身になって聞いたりする学級集団であることが望ましいと考える。相手が自分の気持ちを話しやすくなるように、親身になって聞くという状況づくりが必要だと思われる。

(2) 題材設定の理由

中学生の時期は、自我の目覚めとともに、独立の欲求が高まり、自己内省をし始める時期である。その一方、自我の発達はまだ未熟な面もあり、自分に対する他者の態度や評価で動揺しやすく、自信を失ったり自己嫌悪に陥ったりすることも少なくない。高校進学が意識される頃になると学習上の悩みや進路選択に関する不安や悩みが大きくなっていく。様々な不安や悩み、また、自分の目標が達成できないことから、生徒の中には、無気力傾向などに陥ったり、規律を守らなかつたりするなど、この時期特有の不安や悩みが行動面にも現れることもある。大切なのはその不安や悩みから逃げずに上手につき合っていくことである。

本題材「不安や悩みの解決に向けて」は、学級活動内容(2)「適応と成長及び健康安全」に含まれるもので、個々の生徒が共通して当面する現在および将来にかかわる問題を学級活動を通して解決する内容である。とりわけ悩みという題材は個にかかわる問題であるが、自己との対話に加え、他者とのかかわりの中で生きるという「開かれた個」を目指し、話し合い活動を行いたい。自分の悩みについての内省に終わらず、悩みをもつ級友の気持ちに寄り添い、深く話し合うことができたかを大切にしたい。そして、級友のことや学級のことみなで考えていこうという雰囲気をつくることの大切さを実感させたいと考え、本題材を設定した。

3 指導のねらい

不安や悩みに対する認識を深め、それぞれがもつ悩みの解決に向けて共に取り組んでいこうとする雰囲気をつくり、よりよい学級集団づくりに資する態度を育む。

4 学級活動(2)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級集団や自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	集団の一員としての役割を自覚し、日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

5 指導の視点

講座テーマ「よりよい人間関係と自己指導能力を育成する指導」

講座のテーマであるよりよい人間関係と自己指導能力の育成にむけた取組の一つとして、本題材では話し合い活動の場を設定する。生徒1人1人に協力することを体験させる手立てとして小グループでの話し合い活動を行い、よりよい人間関係づくりにつなげたい。また、本題材のような主として個に関わる問題では、話し合いの後に問題意識を個に返し、個人の問題解決に向けた見通しをもたせたい。それにより行動の実践を促し、自己指導能力の育成の足掛かりとしたい。

6 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

日 時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
9月4日	・オープンクエスチョン トレーニング	・話し方や聞き方には個人 間で差があり、聞き合う 活動を通して聞き方を整 える事の重要性を説明す る。 ・相手の話を聞きながら書 くことで、相手の考えを 深く共有できることに気 付かせる。	
9月25日	・各自で、自分のことを振 り返り、項目ごとに不安 や悩みを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・あなたの〇〇の悩みはどんなことですか。教えて ください。 〇〇にあてはまる項目 ①進路 ②学校生活 ③友人や級友など ④身体・健康 ⑤家庭生活 ⑥その他（生き方、社会問題など、なんでも） </div>	・聞いたことカードに聞き ながら記入させる。	【関心・意欲・態度】 ・ペアトークにおいて、相手 と受容的な態度でコミュ ニケーションしている。 [ワークシート、観察] 【思考・判断・実践】 ・オープンクエスチョンによ る聞き方を実践し、相手 の意見を箇条書きで全部 記入している。 ・オープンクエスチョンによ る聞き方を実践し、相手 の意見をきちんと記述し ている。 [ワークシート、観察]
9月29日	◇計画委員会（学級委員） ・ペアトークで出た意見を 基に実態を分析し、似た ものをまとめたり、意見 として多いものを比べた りしながら、話し合う悩 みを分類する。	・生徒の意見を踏まえ、本 時の流れなどを検討し、 取り上げる悩みを決めさ せる。	

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の課題 「不安や悩みについて、みんなで考えよう」

イ 本時のねらい

アンケートを通して不安や悩みが誰にもあることを知り、共に乗り越えていこうとする意識をもたせる。

ウ 展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
活動の開始 10分	1 話合いの進め方について聞く 2 題材と提案理由の確かめ 3 グループづくりと役割分担を確認し、話し合うテーマを選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会での検討の経緯についても説明する。 学級の連帯感が深まるような話合いになるよう助言する。 4人でグループをつくらせ、役割を分担する。 	
活動の展開 25分	4 話合い (1) 聞き出し(7分) (2) まとめ(3分) (3) 実践へ(5分) 5 話合ったことの確認発表(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 進行役に悩みについて思うことをグループに問い掛けさせ、イメージを具体化させるよう支援する。 聞き出しで出た意見の中から悩みの「原因と思われること」をまとめさせる。 まとめで出た内容に対する具体的なアドバイスを考えさせるようにする。 全体に届く声量、顔を上げての発表を指導する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 司会や発表の役割をきちんと果たしている。 自分の考えたことをきちんとグループ内で伝え合っている。 <p>[発表, 観察, 記録用紙]</p>
活動のまとめ 15分	7 教師の話 8 個人の努力目標の決定	<ul style="list-style-type: none"> 話合いを振り返り、生徒のつぶやきを拾い、実践に向けての意欲を高めさせる。 今回の目標は掲示したり、他者評価をしたりしないことを伝える。 	

(3) 事後の指導と生徒の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
10月7日 ～ 10月14日	<ul style="list-style-type: none"> 話合いによって示された解決策を参考に、解決に向けての手立てを決め実践する。 振り返り活動 	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会などで、教師が話合い後の生徒の変容について気づきを話す。 毎日の帰りの会で、振り返りカードに振り返りを記入させる。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを通して、自分の課題や向上した点について記述している。 <p>[振り返りカード]</p>